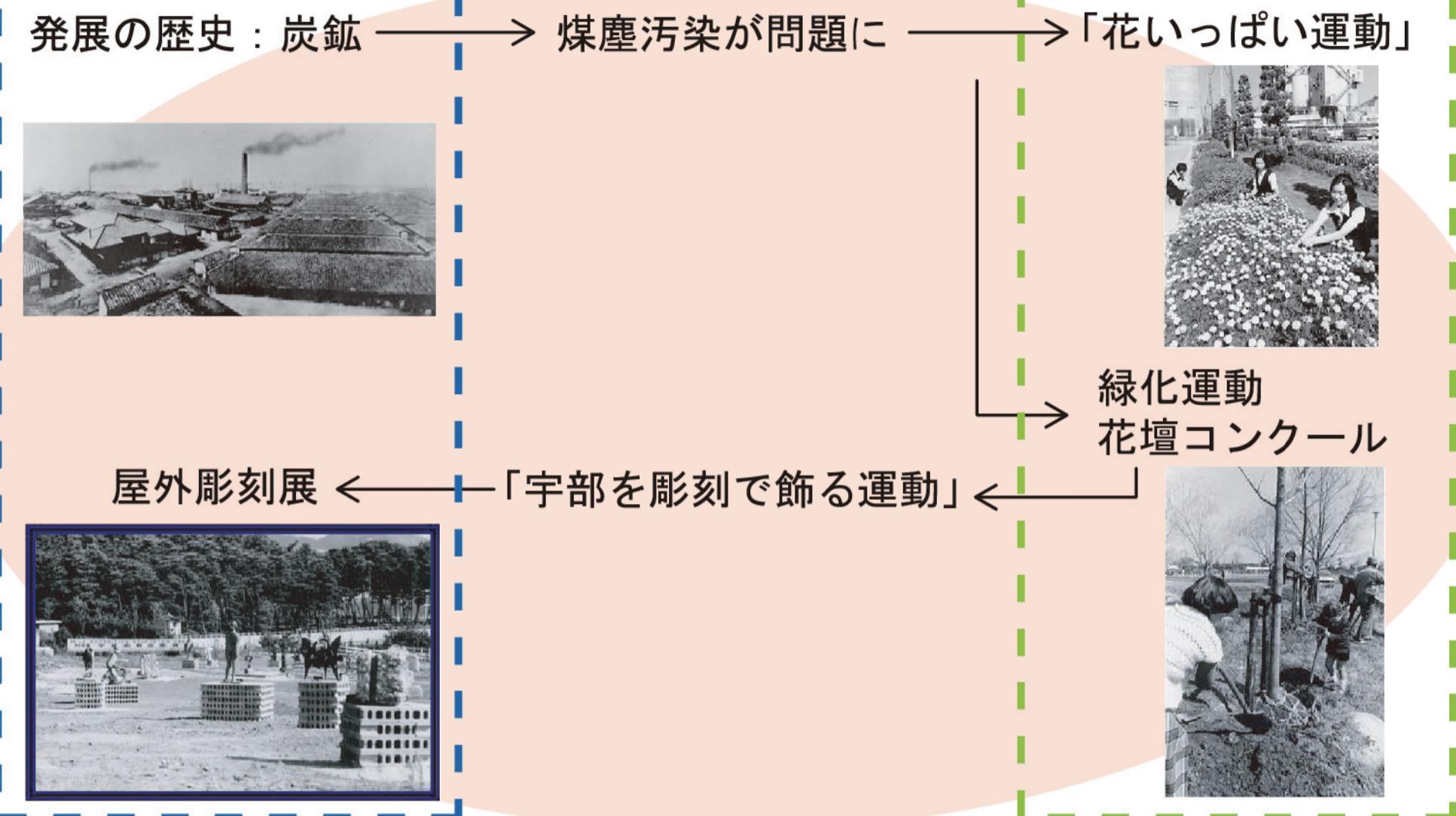


将来 Vision

宇部の歴史・文化



今まで構築してきた宇部像
うべっ子の原点

では・・・

今後の宇部のまちは・・・

『Ubeco +art style』

- ①自然（緑、川、海、etc...）
- ②文化（彫刻、建築、産業、etc...）
- ③交通（電気バス、レンタサイクル、歩車分離&共存）

住みたいまち

- ・うべっ子がずっと住みたくなるまち
- ・うべっ子になりたくなるまち
- ・ずっと住み続けられるecoなまち

□宇部全体

「電気バス」の導入

『ルートの設定』

現在バラバラになっている交通の拠点である宇部新川駅・山口宇部空港と、宇部のアイデンティティの1つである常盤公園をつなぐ回遊ルートを計画した。

そのことにより、宇部市は交通の利便性の面からより住みやすいまちになり、常盤公園はより魅力的なスポットとして認識される。

『なぜ電気？』

現在の社会的背景として、ecoなまちづくりが望まれており、宇部市が環境問題を積極的に取り組んできたという歴史があるため、ecoな交通手段として電気バスを選んだ。



宇部市に住みやすくなる

中心市街地の交流人口が増加する



『電気バスルート』



□中心市街地

「自分スタイル 都心居住」へ

『利便性』

広域な交通網としての電動バスはもちろん、中心市街地内でコンパクトに住むためには歩行者と自転車利用者の利便性が高まる必要がある。そのためには、最優先されてきた自動車道を歩行者・自転車利用者へ一部還元して行く必要がある。

『魅力』

中心市街地に存在しているUbe identityを持つ要素は、現在分散したまま、各々の魅力を発しきれていない。

そこで、それら独自の魅力を高めるポイント的整備と、魅力が高まったポイントをつなげ、回遊する事でさらなる魅力の向上をはかる。

『将来Visionゾーニング』

宇部を感じる駅

宇部の玄関となる
宇部新川駅である

宇部の文化にふれる

歴史的建築や彫刻を観て・触って・楽しめる

色々な世代が豊かに住まう

公共サービスを提供する福祉や市役所などの施設が隣接し、緑や水、彫刻といった生活の魅力になるものも隣接している

人の活動があふれる

文化や自然、商業をつないでいる

人の新たな活動が生まれる

この道を挟んだ住宅と商業との関わりあふれかえる

昼夜にぎわう飲食街

現在は、夜だけにぎわう飲食店があつまっているが、今後は、宇部興産などで働く人々や来街者が昼間も訪れにぎわう

生活を支える商店

日々、生活の中にあった商店街に、通りを挟んだ住宅地からも人が訪れ、にぎわう

自然と人が集まる川辺

緑と水と彫刻（文化）があふれる空間に、人が自然にあつまり癒される